

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 豊中市長

住 所	(〒560-0022) 豊中市北桜塚1丁目3番1号 Tel. 06-6843-4141
申請者氏名	豊 中 太 郎 ほか〇名 (別添名簿のとおり)
職 業	会 社 員
生年月日	昭和35年 1月 1日生

鳥獣の捕獲等及び鳥

化に関  
に基づき

(並びに同法第9条第8項

- ・該当する目的にチェック
- ・自宅等での被害は「鳥獣の管理 (生活環境被害の防止)」
- ・田畑で農業に被害がある場合には「鳥獣の管理 (農林水産業被害の防止)」

- ・捕獲する鳥獣にチェック
- ・イタチは、在来種とシベリアイタチの2種類います。特定できない場合には両方にチェック

- ・捕獲予定数は、多めに記入
- ・複数種類に「チェックがある場合には、合計〇頭としてください

捕獲等しようとする鳥獣の種類及び数量	<input checked="" type="checkbox"/> イタチ <input checked="" type="checkbox"/> シベリアイタチ <input type="checkbox"/> カ <input type="checkbox"/> カワラバト <input type="checkbox"/> カワラバト (卵) <input type="checkbox"/> トリア <input type="checkbox"/> その他 ( ) 合計 6 (頭・羽・個)
捕獲等又は採取等の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥獣の管理 (生活環境被害の防止) <input type="checkbox"/> 鳥獣の管理 (農林水産業被害の防止) <input type="checkbox"/> 特定鳥獣保護管理計画
捕獲等又は採取等の期間	令和〇〇年 〇月 〇〇日から 令和〇〇年 〇月 〇〇日まで
捕獲等又は採取等の区域	豊中市北桜塚1丁目3番1号 <input checked="" type="checkbox"/> 別添地図あり
捕獲等又は採取等の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 手取り等 <input type="checkbox"/> その他 ( )
捕獲等又は採取等をした後の処置	放獣
鳥獣保護区等における捕獲等又は採取等	<input type="checkbox"/> 網猟 <input type="checkbox"/> わな猟 交付知事名: _____ (都・道・府・県) 知事 免状の番号: _____ 第 _____ 号 交付年月日: _____ 年 月 日
狩猟免許を受けている場合は当該免許の種類、免許を与えた知事名狩猟免状の番号及び交付年月日	許可証の番号: _____ 第 _____ 号 交付年月日: _____ 年 月 日
銃器を使用する場合は、猟銃・空気銃所持許可証の番号及び交付年月日	
備 考	シベリアイタチ等外来種の捕獲を申請する場合、措置が可能であれば放獣のあとに「又は安楽死後、焼却処分」を追加

捕獲期間の開始日は交付決定日以降の日付となります

※許可をした内容については、大阪府 (シカ・イノシシの捕獲に限る) 及び所轄警察署 [銃による捕獲 (止めさしに銃を使用するものを含む) に限る] へ通知しますので、あらかじめご了承ください。

(備考)

- 1 法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合にあっては、( ) を外し、従事者証の交付申請を同時に行わない場合若しくは個人申請の場合は( ) 内の文字を抹消すること。
- 2 住所欄には、法人申請(従事者証を交付する場合)の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
- 3 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか〇名」と人数を記入し、代表者以外は「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿」に必要事項を記載の上添付すること。  
法人申請の場合は、その法人の長の名前を記入し、従事者は従事者名簿に必要事項を記載の上、添付すること。
4. 捕獲の頭(羽・個)数は、各人別に割り振られた頭(羽・個)数を記載すること。  
また、1頭を共同で捕獲するような場合においては、合計〇人で1頭というように記載すること。
5. 目的欄には「管理(被害防止)」「管理(数の調整)」等、捕獲等をする事由を記載すること。
6. 区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番(地先)等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図を添付すること。
7. 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。  
なお、麻酔銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付図面に記載すること。
8. 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「処分」、「放鳥」、「放獣」、「放獣または処分」、「飼養」等と記入すること。
9. 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第14条第1項の特別保護地区、都市計画法第4条第6項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けられた園地であって囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第14条第1項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、その旨を記載。
10. 狩猟免許に関する記入欄には、申請者(法人にあっては捕獲等に従事する者)が狩猟免許を現に受けている場合にあっては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免状の番号及び交付年月日を記載。
11. 猟銃・空気銃所持許可証番号及び交付年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等をしようとする場合にあっては、当該銃器の所持について申請者(法人にあっては、捕獲等に従事する者)が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項の規定に係る許可証番号及び交付年月日を記載。(所持の許可を受けた者以外の者が当該所持の許可を受けた者の監督の下に麻酔銃猟を実施する場合にあっては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第五条第二項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む)
12. 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。
13. 用紙のサイズは日本工業規格A4版とすること。